

図書館新聞

vol. 11

☆理想の女子診断

☆5, 7, 8月の展示

☆選書コーナー

☆おすすめの本

紹介 ☆活動報告

など



展示コーナー

5月 テーマ：DIY とインテリア



6月 テーマ：声を意識してみよう



7月 テーマ：楽しい鉄道の旅



選書コーナー



6月の19日、20日に今井書店グループセンター店に選書に行ってきました。
予算は、一人一万円で小説やエッセイなど様々な本を選書させていただきました。
その時に選書した本が今、図書館の入り口付近に図書委員が作成したPOPと一緒に展示されているのでぜひ見てみて下さい。

『乙女の古典』

清川 妙著 中経出版

この本は著者のおすすめする古典の名場面十編をオムニバス形式で春夏秋冬にわけて収録したものです。

知っている物語に関しては少し物足りなさを感じてしまうかも知れませんが、知らない物語では歌や日記の一部の解説などを交えながら著者独自の視点からわかりやすく書かれているので、普通に古典を読むより主人公や登場人物をイメージしやすく、読み進めていくうちに女性が愛する男性に向けた思いに共感してしまうこともあると思います。内容だけでなく、表紙や挿絵がとても綺麗で紹介される名場面には花を添えており、敷居が高そう、難しそうといった古典のマイナスイメージを払拭しているので、入門書としてもおすすめの本書です。(図書館 安達さん)

『正しい暮らし方読本』

五味太郎作 福音館書店

この本は、「正しいねむりのあり方」「正しい本の読み方」「正しいしかられ方」などなど、正しく暮らす方法を教えてくれます。作者は五味太郎さんですから、気負わずに読んでみてください。力の抜きかげんが絶妙です。「正しく暮らしたい!」と思っている人にはもちろん、一生懸命頑張っている人にもおすすめの一冊。

「正しいお弁当のあり方」を読んだ息子の一言。「お母さん頑張って」さあ、どんなお弁当が正しいのでしょうか？正解は本の中に……？(おはなしレストランライブラリー 尾崎さん)

学生図書委員おすすめ本!!!

『真夜中のパン屋さん 午前0時のレシピ』 著者:大沼紀子 出版社:ポプラ社

舞台は午後23時から午前29時だけ開くパン屋「ブランジェリークレバヤシ」。

店員はオーナー兼接客、白いコックスーツにブルーベリー色のエプロンをつけた暮林陽介(クレさん)とパン職人の黒いコックスーツにラズベリー色エプロンをつけた柳弘基。ここにクレさんの亡くなった妻美和子の腹違いの妹だという篠崎希実がパン屋で居候を始めるところから物語が始まる。そしてパン窃盗事件から失踪事件へと巻き込まれてしまう。

(小林)



『世界屠畜紀行』 著者：内澤旬子 出版社：開放出版社

世界のあちこちを巡りながら牛や豚といったよく見る動物からラクダまで（!?）の屠畜、解体、調理を読みやすい文体で紹介してくれる本です。見たり考えたりするの少ない屠畜というテーマですが、イラストも多様されていてとても分かりやすく、「食」を考え直すきっかけになると思います。

パックで売られているお肉からは想像のできない屠畜業の話が興味深いです。（古川）



『今日のごちそう』 著者：橋本 紡 出版社：講談社

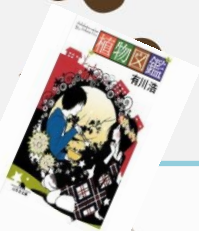
「悲しい時もせつない時も、ごはんが元気を連れてくる」ご飯にまつわる話の短編集です。どの話も読んでいて本当に食べたくなってきました。しかし、話を一つ読み終わると、なんとお腹がちょっと満たされた感じがするのです。ちなみにメニューは全部で23、一冊読んだら満腹になります！（笑）

食欲の秋に是非、お腹も心もいっぱいになる一冊、読んでみてください。（内田）



『植物図鑑』 著者：有川浩 出版社：角川書店

ある日、OLの河野さやかは行き倒れの男樹を拾い、同居生活を始めることになる。休日には散歩に出かけ野草を摘み取っては、帰っては野草料理を作って、食べるという生活をおくり、二人は喧嘩をしながらも関係を深めていく。本の最後の方には野草料理のレシピも載せられているので、それを参考に料理に挑戦してみるのもいいのではないかと思います。（新田）

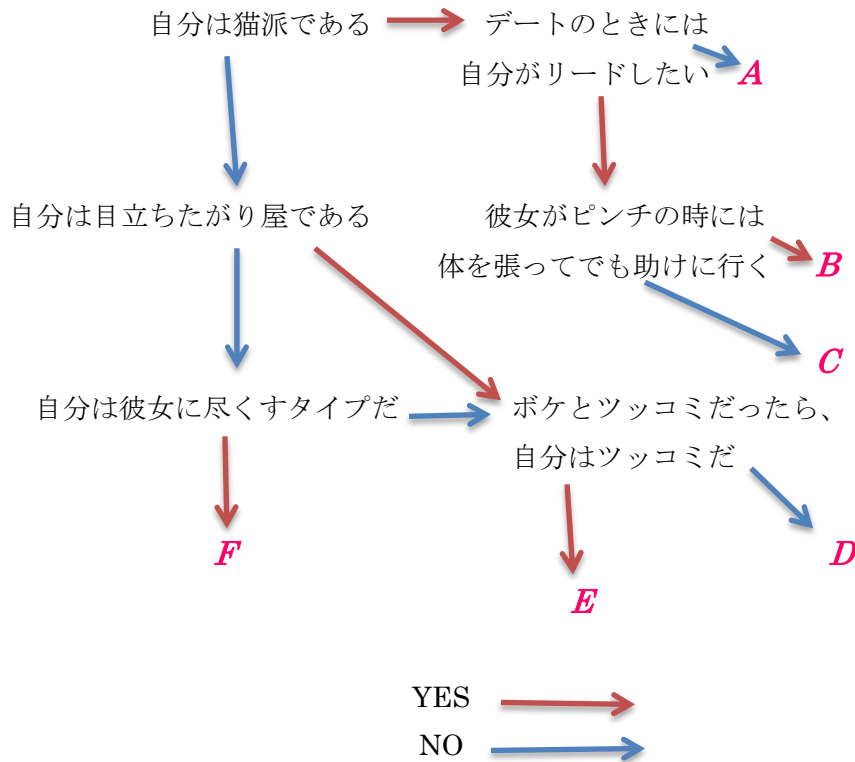


『八朔の雪 みおつくし料理帖』 著者：高田郁 出版社：角川春樹事務所

料理屋「つる家」で働く滯は、大阪から出てきたばかりで、江戸の人たちとの味覚の違いに戸惑うばかり。滯は水害により両親を亡くし天涯孤独の身であったが、温かい人たちに囲まれて困難にもひたむきに立ち向かっていきます。心を込めて料理を作っていく滯の姿に感動して涙もほろり…。読むと大切な人に料理を作ってあげたくなるかも…？（小豆）



理想の女子診断



このチャートは学生図書委員会が作成したものです。
結果は参考としてお楽しみください。

この画像は、Amazon さんからお借りしました。



A 年上女子 『ディアレスト ガーデン』 遠野リリコ

血の繋がっていない親子、茜と爽子。二人は親子とも恋愛ともいえぬ、深い繋がりを持った関係だった。しかし、ある事をきっかけに二人の間には綻びができて始める。儚いけれど、強くあろうとする爽子に、年上女性の素敵な魅力を感じられる一冊です！

B お姫様系女子 『ぼくのおひめさま 親指姫 白雪姫』 今日マチ子

親指姫と白雪姫、二つのお姫様のお話の絵本です。可愛い絵で物語が描かれていますが、どこか怪しげで大人向けの絵本のようにも思えます。語りのCDもついており、絵本と一緒に聴くことで二度楽しめます。

これを読めば、あなたも可愛いお姫様を守りたくなっちゃうかも…？



C 強気女子 『神去りなあなあ日常』 三浦しをん

神去り村には林業従事者が多い。高校を卒業したばかりの平野勇氣は半ば無理矢理林業の研修生として働くことに。いやいやながらにやめることができずにずるずると仕事を続ける勇氣は村の小学校で教師をしている石井直紀に一目惚れ。しかし、年上で気が強い彼女はなかなか振り向いてくれず…。勇氣の涙ぐましい努力は届くのか!?



D おとなしい系女子 『RDG レッドデータガール』 萩原規子

鈴原泉水子は姫神が憑依する女性の家系で内気な女の子、その幼馴染の相楽深行はその家系を守ることを使命とする山伏の家系の出身。高校進学は、幼馴染の相楽深行と共に東京の鳳城学園へ入学するよう周囲に決められてしまう。進学先の鳳城学園で新たな仲間と出会い、内気だった泉水子の世界は大きく変わっていく。



E 天然系女子 『きいろいゾウ』 西加奈子

夫の名は無辜歩、妻の名は妻利愛子。お互いを「ムコさん」「ツマ」と呼び合う田舎に住む若い夫婦。ツマは動植物の声が聞こえてしまう不思議な女性だったが、ムコはツマを愛し彼女を優しく見守っていた。しかしそんなツマをおいて一人東京へと向かうムコ。彼は果たして戻ってくるのだろうか。天真爛漫な不思議系妻と包容力にあふれた夫の愛の物語。



F 女王様系女子 『春琴抄』 谷崎潤一郎

盲目の美女・春琴に仕える佐助は春琴の美貌が熱湯により傷つけられるやいなや、その美を永遠に心に留めたいがために自らの眼を針で貫く__。

異常なまでの佐助の春琴への愛。サディステックな女性とマゾヒズムな男性の愛の世界の物語。

女王様タイプの女性に惹かれる人へ、オススメの一冊☆



シンポジウム報告

9月5日、6日の二日間に島根大学で行われたシンポジウムに参加してきました！

このシンポジウムでは他大学の図書委員の活動報告を聞いたり、交流会で他大学の方と親睦を深めたり、二日目には「図書館カフェ」と言われる4ラウンドに構成されたグループに分かれてのディスカッションをしました。



その他にも、ポスターセッションや、島根大学の図書館の施設見学、松江キャンパスのおはレスで「おはなしのじかん」の見学などをしました。



その後、委員会で報告をし合いましたが、たくさんの発見やアイデアがあげられました。みんなよい経験になったのではないのでしょうか。

☆学園祭☆



学園祭では、しおりと付録の販売の他、パネル展示や図書館新聞の配布もしました。

たくさんの方に来ていただいて、とてもよかったです！

今年も大好評だったようです☆

読書マラソン開催中！

6月から開催している読書マラソンも、残りわずかになってきました。今年も接戦のようです！

冊数を競う「図書部門」、POPの出来を競う「絵本・多読部門」ともに上位3名には素敵な賞品があります！

また、参加者全員に参加賞もあります☆
今からでも遅くはありません！
是非、チャレンジしてみてください！

読書マラソンは11月29日まで!!

結果発表は12月20日です

☆選書☆

図書委員では6月に選書に行きましたが、11月にも再び本狩り(選書)に行ってきます。

今回の選書は、今までと一味違ったものになる予定です。

選書した本は、展示コーナーに置かれるのでその時までのお楽しみに☆



おはなしマラソン報告。

7月14日～8月31日の間、おはなしレストランライブラリーで開催されました！

これは、おはレス利用者を対象とした企画で、本一冊につき一枚POPを書き、POP一枚で一つ貰えるスタンプを10個貯めてプレゼントを貰おう！というものでした。

プレゼントは、図書委員手作りのメダルとカードでした☆

今年の参加者は、なんと66人！！
去年からまた増えました☆



参加して下さった皆様、本当にありがとうございました♪
次回の企画もお楽しみに・・・。

編集後記

記事のレイアウトの仕方などに手間取ったりしましたが、図書館新聞の担当の皆さんがいろいろと教えて下さったので何とか自分のページをつくることができました。(新田)

今回初めて学生図書新聞を編集しました。うまく記事を作れないことも多くありましたが、無事完成したことをうれしく思っています。(小林)

今年初めて新聞作りに参加しました。レイアウトには思っていた以上に悩み大変な部分もありましたが、何とか形にできました。みんなで作った図書館新聞がたくさんの方に手に取ってもらえると嬉しいです。

(小豆)

去年に引き続き、図書館新聞の製作をしましたが、なかなか段取りが出来ず、担当のみんなには苦勞をかけてしまいました。少しでも読んでくださる方が楽しめる新聞であつたらいいです☆ 新聞担当の皆さん、司書さん本当にありがとうございました。(内田)

ブログ

図書委員会での内容や企画の広報、第2・4水曜日更新の図書委員によるおすすめ本紹介など、割と頻繁に更新していますので、是非見に来てください!

図書委員会の報告では議題や活動中の様子など、写真を使って紹介しています。

次の企画なども分かるので注目です☆☆

URL

<http://dropkatharsis.blog82.fc2.com/>